

2004年第47週報告分

- 発 生 動 向 の 概 況
- 定 点 医 療 機 関 か ら の コ メ ン ト
- 全 数 届 出 患 者 報 告 数
- 五 類 定 点 患 者 報 告 数
- 疾 病 別 グ ラ フ (五 類 定 点 週 報 告 分)
- 病 原 体 検 出 情 報 (表 ・ グ ラ フ)
感 染 性 胃 腸 炎
- 年 齢 階 級 別 報 告 数
- 保 健 所 別 報 告 数
- 保 健 所 別 報 告 数 (定 点 当 た り)
- 感 染 症 豆 知 識 (咽 頭 結 膜 熱)

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電 話 : 03-3363-3213(直通)

FAX : 03-5332-7365

E-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス : idsc.tokyo-eiken.go.jp/



発生動向の概況 47週分

(全数報告の疾患)

- ・細菌性赤痢が4件報告された。検出菌はソンネ菌3件(推定感染地:インド、ベトナム、ブラジル)、フレキシネル菌1件(推定感染地:国内)である。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が4件報告された。検出菌の血清型はO157が2件(VT1産生株、VT1&VT2産生株)、不明2件(どちらもVT1&VT2産生株)である。
- ・アメーバ赤痢が3件報告された。推定感染地はパプアニューギニア、タイ、国内で、感染経路は、飲食等による経口感染1件、不明2件である。
- ・ウイルス性肝炎が1件報告された。B型で透析による感染が推定されている。
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病が1件報告された。臨床診断による決定である。
- ・HIV感染症が4件報告された。無症候性キャリア3件、AIDS1件で、推定感染経路は同性間性的接触1件、異性間性的接触3件である。
- ・ジアルジア症が1件報告された。推定感染地は国内、感染経路は不明である。
- ・梅毒が3件報告された。無症候梅毒2件、晩期顕症梅毒1件で、推定感染経路はすべて異性間性的接触である。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点報告の疾患)

- ・感染性胃腸炎の報告が増加している。杉並保健所からは140名(定点あたり23.33)の報告があった。

(検出された病原体)

- ・扁桃炎1名の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス6型の遺伝子が検出されている。
- ・急性咽頭炎1名の咽頭拭い液からアデノウイルス、ヒトヘルペスウイルス6型の遺伝子が検出されている。咽頭炎・結膜炎1名の咽頭拭い液、感染性胃腸炎・肝機能障害1名の糞便からアデノウイルスが検出されている。
- ・サイトメガロウイルス感染症1名の咽頭拭い液からサイトメガロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・乳児嘔吐下痢症・上気道炎1名のエンテロウイルスの遺伝子が検出されている。
- ・不明発しん症3名の咽頭拭い液からエンテロウイルスの遺伝子が検出されている。うち1名からはヒトヘルペスウイルス7型の遺伝子が、他の1名からはアデノウイルス、EBウイルス、サイトメガロウイルスの遺伝子も検出されている。
- ・痙攣重積2名の咽頭拭い液のうち1件からエンテロウイルス、他方からアデノウイルスの遺伝子が検出されている。

- ・ウイルス性胃腸炎集団発生2事例の患者糞便10件からノロウイルスの遺伝子(GⅡ型)が検出された。
- ・菌株で搬入されたMRSA3株のコアグラマーゼ型は、Ⅱ型、Ⅲ型、Ⅶ型であった。
- ・菌株で搬入されたMSSA2株のコアグラマーゼ型は、Ⅴ型、Ⅶ型であった。
- ・菌株で搬入された溶血性レンサ球菌2株のT型は、11型、B3264型であった。
- ・性感染症定点等から搬入された血清等183件中6件から梅毒特異抗体が検出された。
- ・性感染症定点等から搬入された血清等170件中62件からクラミジア・トラコマチス特異抗体が検出された。
- ・性感染症定点等から搬入された頸管拭い液2件中1件からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出された。

定点医療機関からのコメント

大田区

- ・インフルエンザ2名ともA型でした。同じ保育園児です。
- ・インフルエンザ2名ともA型です。

世田谷

- ・2名高熱2日間持続者にインフルエンザ迅速テストをしましたが、陰性でした。

台東

- ・インフルエンザ3歳男児、A型。

多摩小平

- ・感染性胃腸炎20名、インフルエンザ流行の前兆です。

全数届出患者報告数 2004年 47週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)		
		44週	45週	46週	47週	年累計	47週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ	2				12		79
	細菌性赤痢	3	2	1	4	123	10	533
	ジフテリア							
	腸チフス	1		2		17		62
	パラチフス					15	1	78
三類	腸管出血性大腸菌感染症	9	1	5	4	267	35	3482
四類	E型肝炎					4		(28)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					21	(3)	(126)
	エキノコックス症							24
	黄熱							
	オウム病					3		38
	回帰熱							
	Q熱					1		7
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症					1		6
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					6	14	160
	デング熱	1	2			27		43
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	61
	日本脳炎							5
	ハンタウイルス肺症候群							
Bウイルス病								
ブルセラ症								
発しんチフス								
ボツリヌス症								
マラリア					18	2	65	
野兎症								
ライム病							4	
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	1	1			18	4	140	
レプトスピラ症					3		(16)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	3	4	3	128	4	519
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	4	2		1	57	3	270
	急性脳炎					7	(6)	(126)
	クリプトスポリジウム症					8		91
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	18	3	151
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					5		50
	後天性免疫不全症候群	4	6	10	4	372	7	1008
	ジアルジア症				1	18	1	80
	髄膜炎菌性髄膜炎			1		7		21
	先天性風しん症候群					3		8
	梅毒	1			3	58	8	451
	破傷風					2	1	91
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症					9		45	

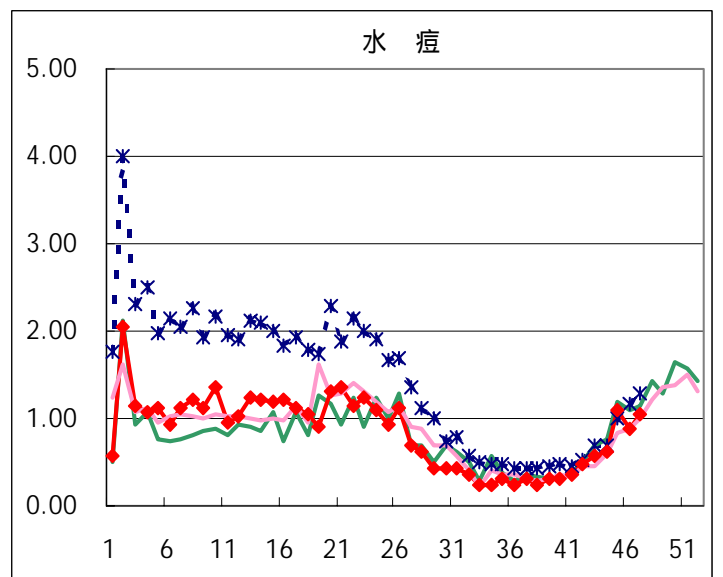
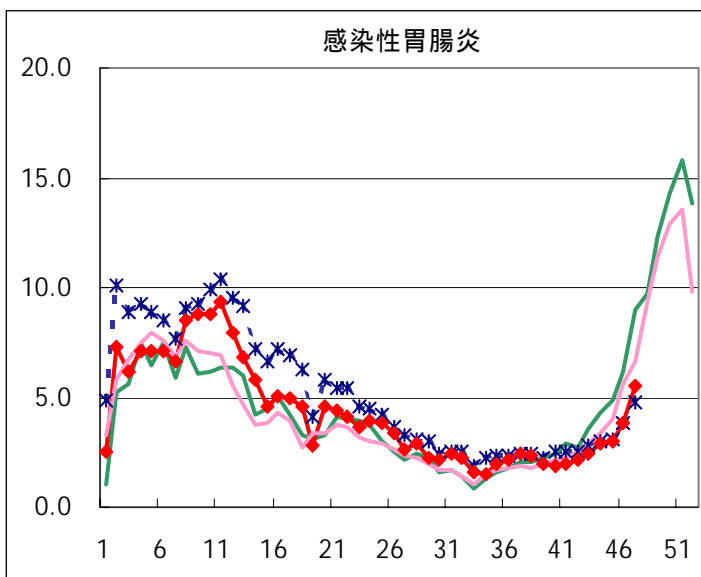
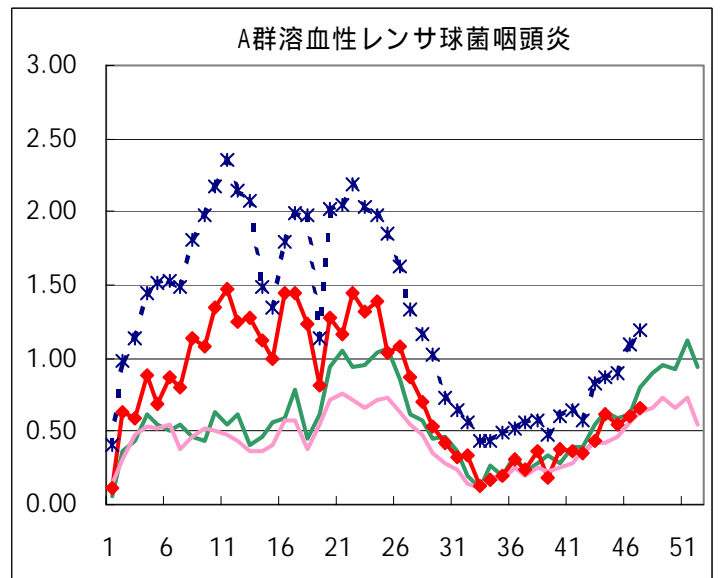
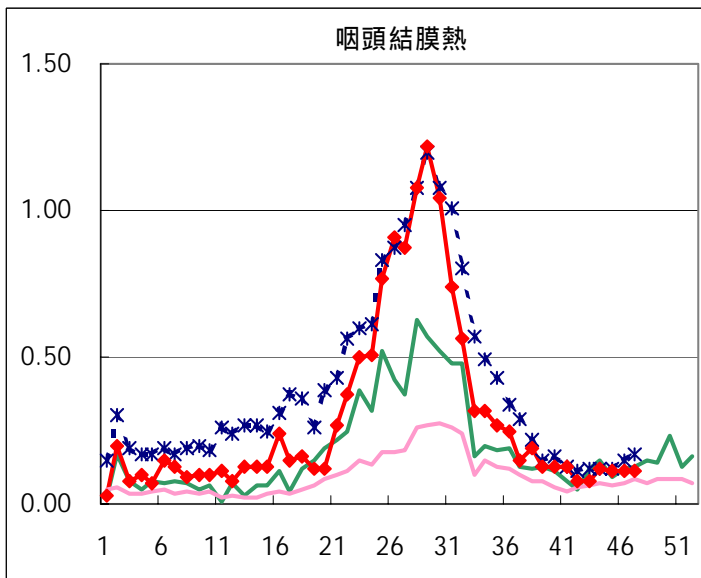
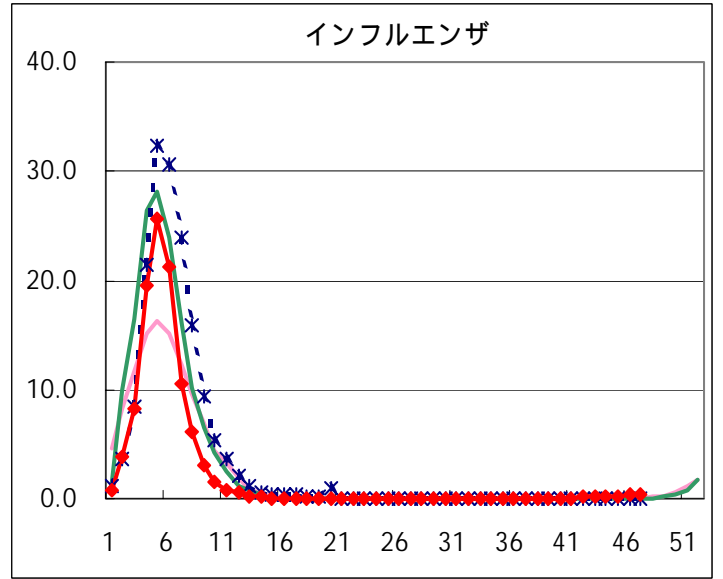
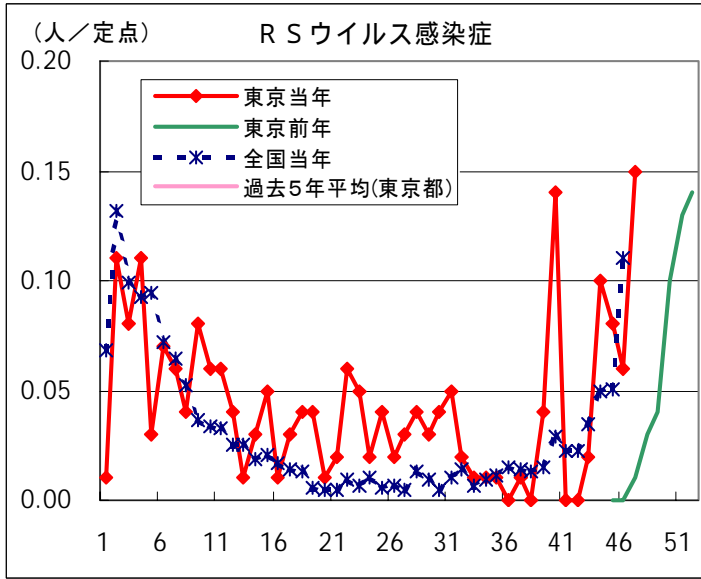
2004/11/30集計(カッコ内の数値は前週分である)。

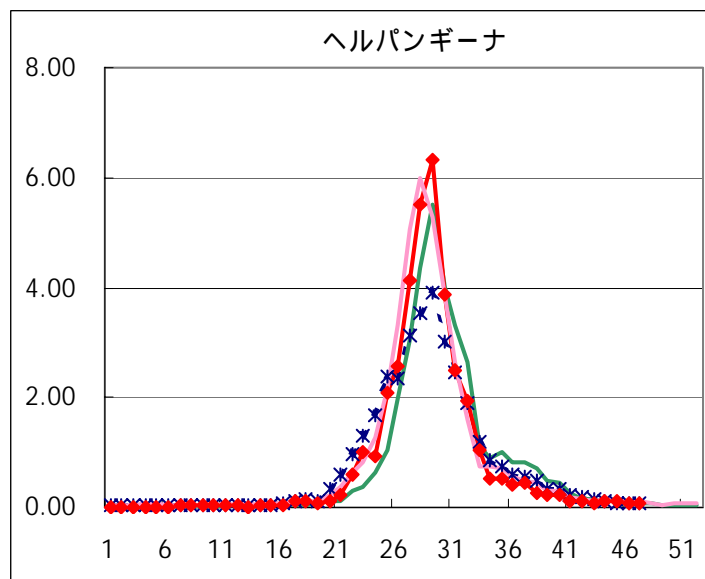
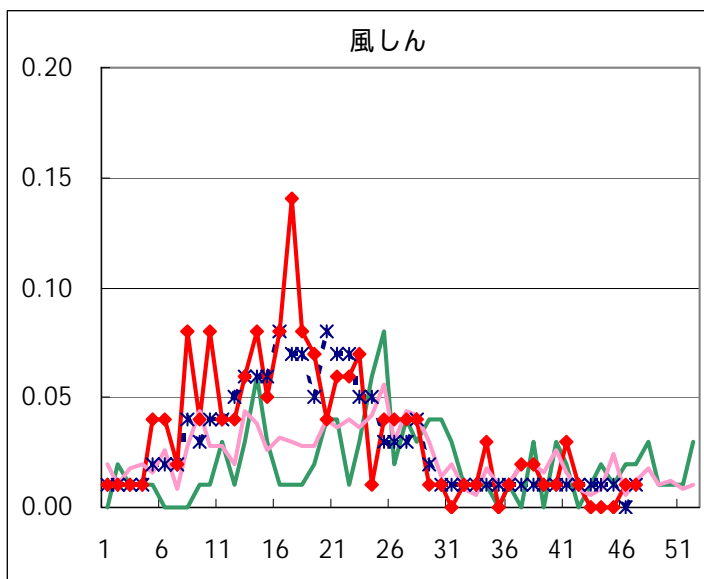
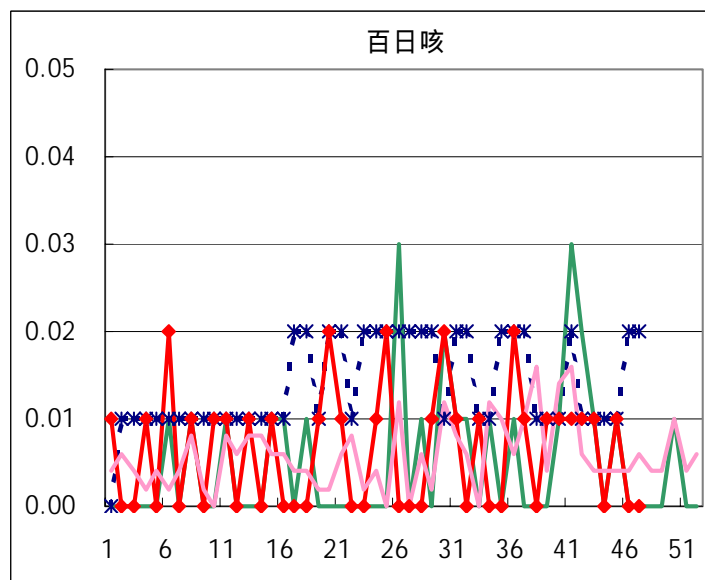
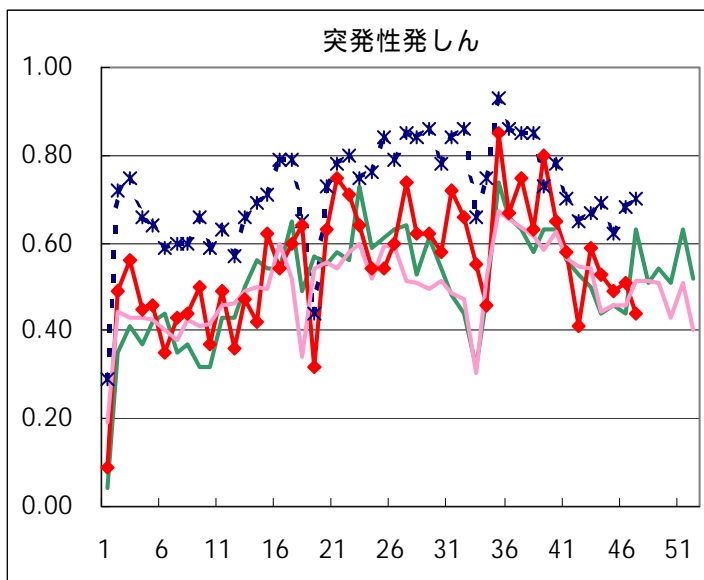
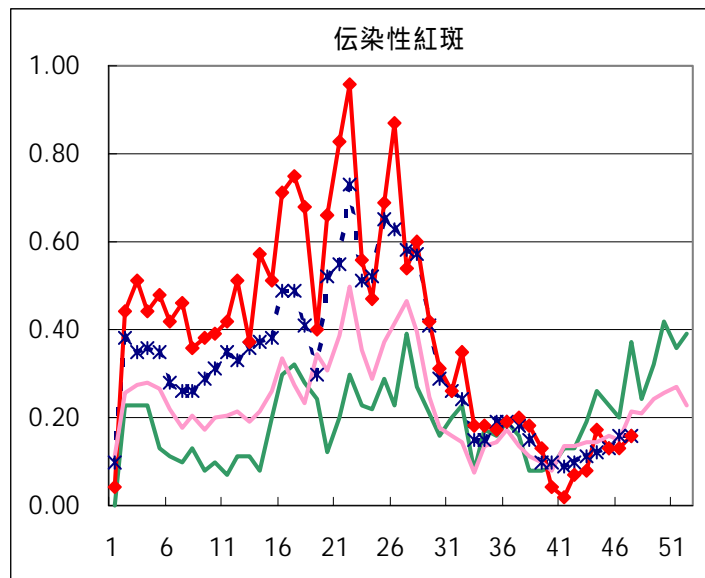
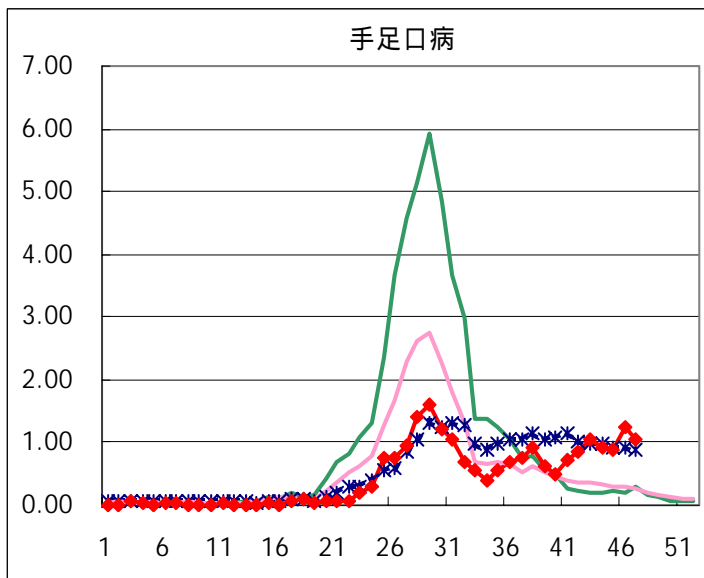
五類定点患者報告数(男女別)

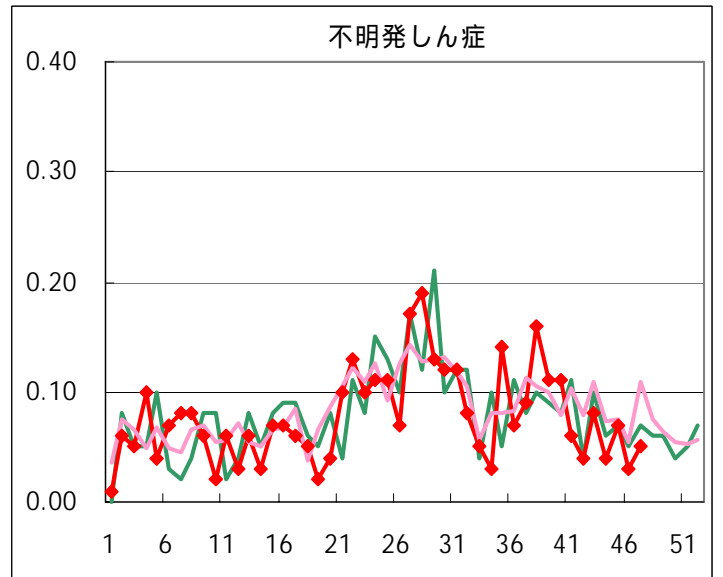
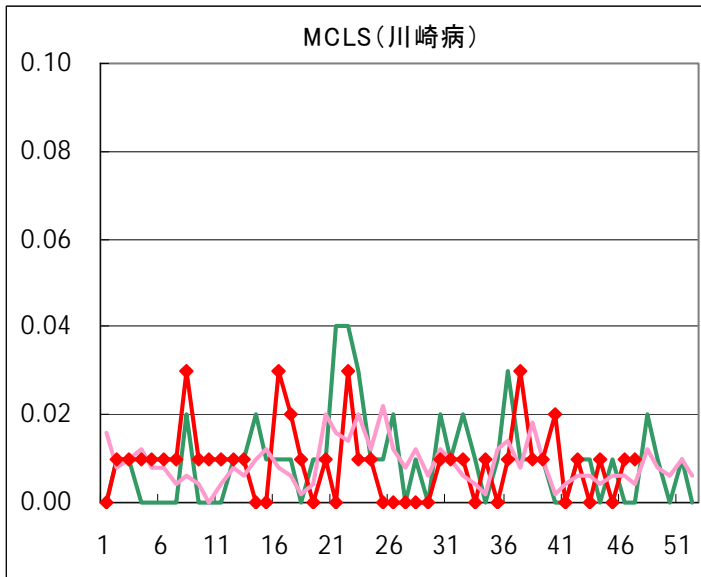
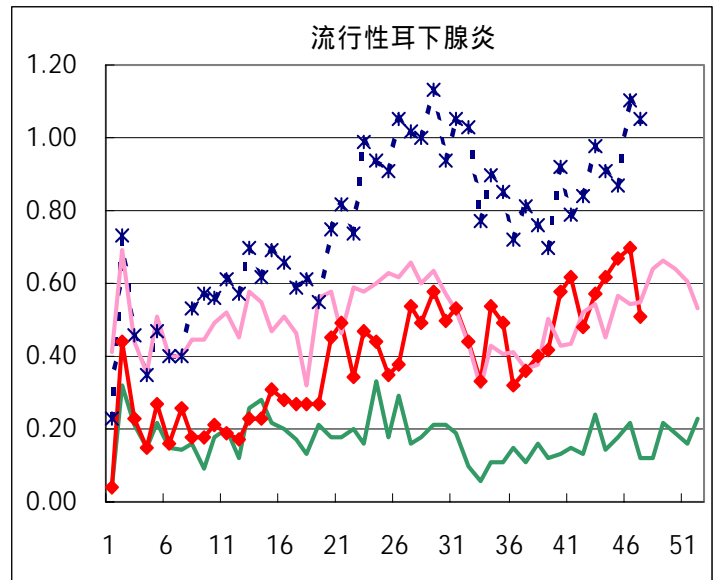
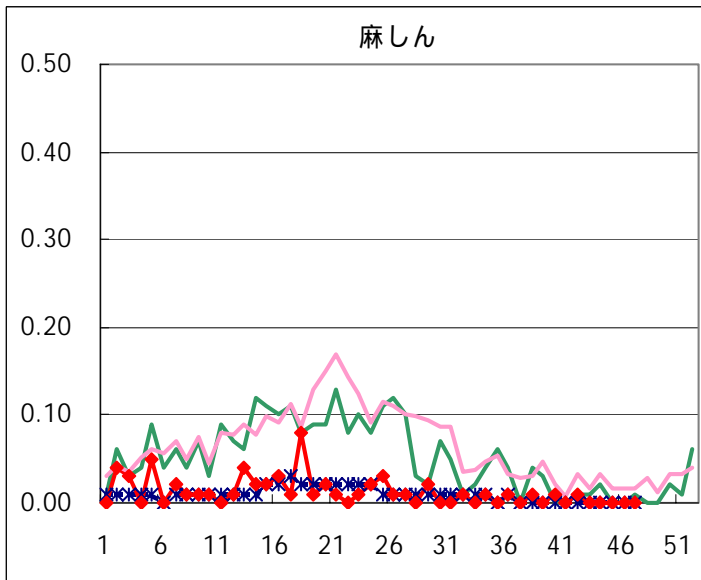
疾病名	性	2004年				4週合計	年累計
		44	45	46	47		
RSウイルス感染症	男	6	5	5	14	30	155
	女	8	7	4	7	26	130
インフルエンザ	男	13	25	25	30	93	9,285
	女	23	24	26	28	101	9,153
咽頭結膜熱	男	11	7	6	9	33	1,049
	女	6	8	10	7	31	914
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	51	49	45	59	204	2,799
	女	37	29	40	35	141	2,388
感染性胃腸炎	男	211	245	289	397	1,142	14,916
	女	195	177	249	384	1,005	13,772
水痘	男	48	80	65	85	278	3,039
	女	40	76	59	63	238	2,655
手足口病	男	63	67	94	73	297	1,627
	女	65	58	84	75	282	1,388
伝染性紅斑	男	14	10	12	11	47	1,266
	女	10	9	6	12	37	1,350
突発性発しん	男	35	36	38	31	140	1,875
	女	40	33	34	32	139	1,799
百日咳	男						19
	女		2			2	21
風しん	男				1	1	127
	女			1	1	2	101
ヘルパンギーナ	男	12	11	7	5	35	2,708
	女	7	6	3	6	22	2,524
麻しん(成人麻しんを除く)	男						38
	女						34
流行性耳下腺炎	男	42	47	54	34	177	1,399
	女	46	48	46	38	178	1,153
不明発しん症	男	5	6	1	2	14	259
	女	1	4	3	5	13	253
MCLS	男	1		1	1	3	27
	女	1				1	29
急性出血性結膜炎	男						3
	女						3
流行性角結膜炎	男	7	9	5	5	26	364
	女	6	6	2	1	15	302
細菌性髄膜炎	男		2	1		3	13
	女	1	1	2	1	5	7
無菌性髄膜炎	男		3			3	17
	女		4	1		5	23
マイコプラズマ肺炎	男	2	5	2	5	14	63
	女	5	2	5	2	14	65
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						2
	女						2
成人麻しん	男						9
	女						6

疾病別グラフ(五類定点週報告分)

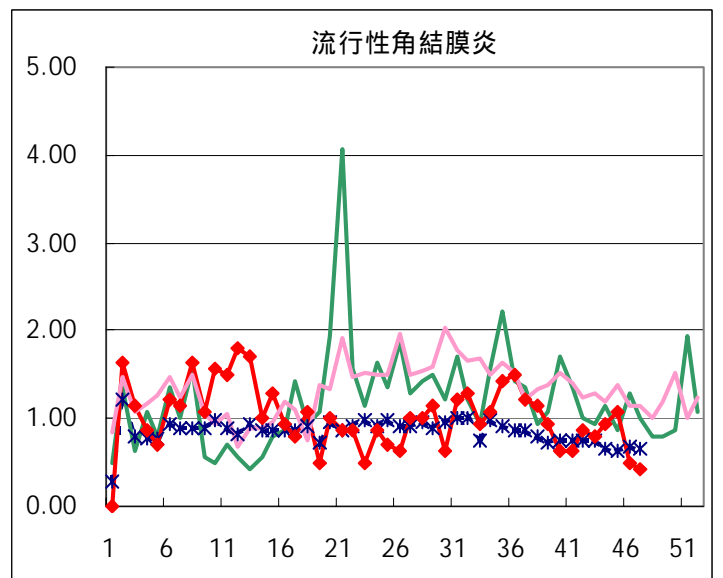
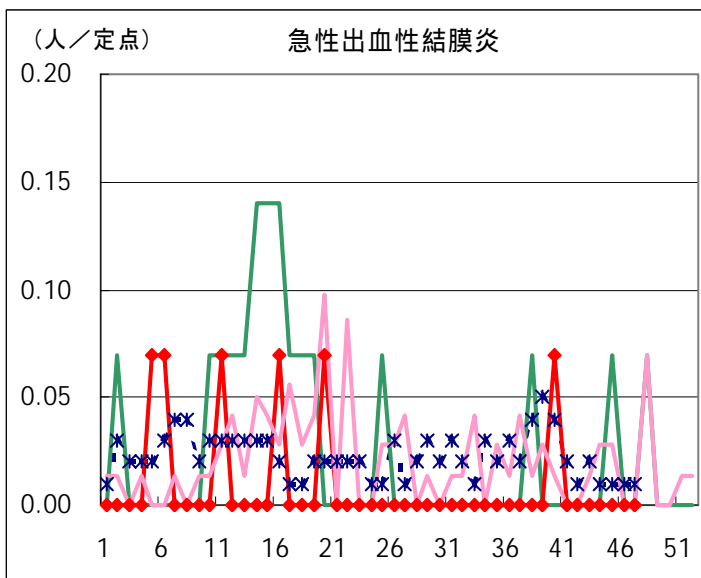
◆ 小児科・インフルエンザ定点



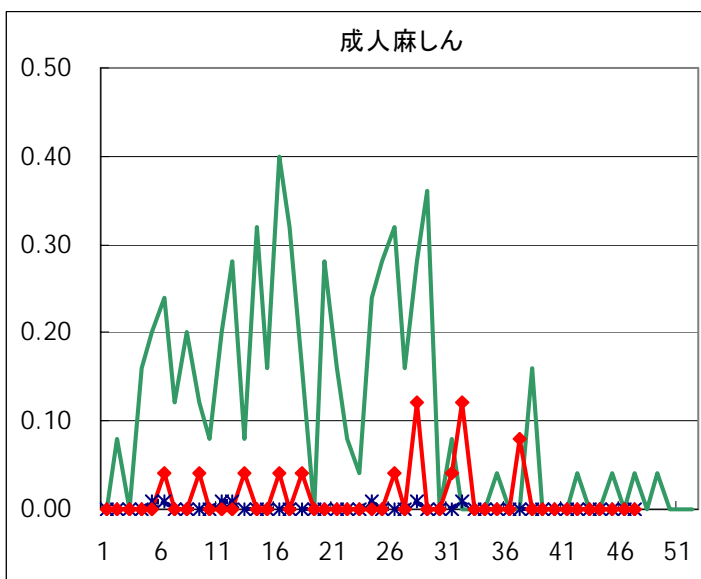
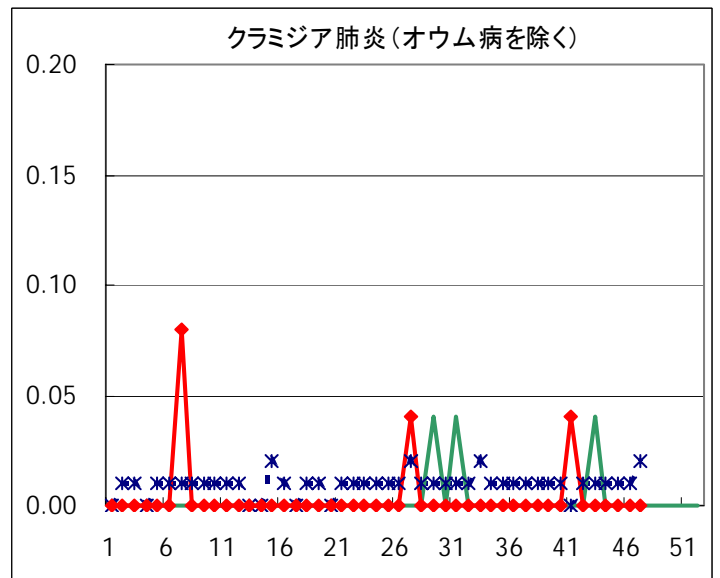
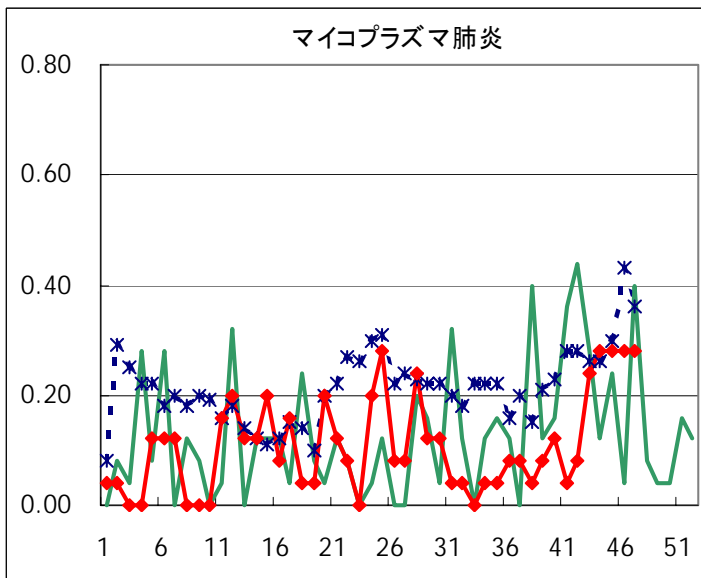
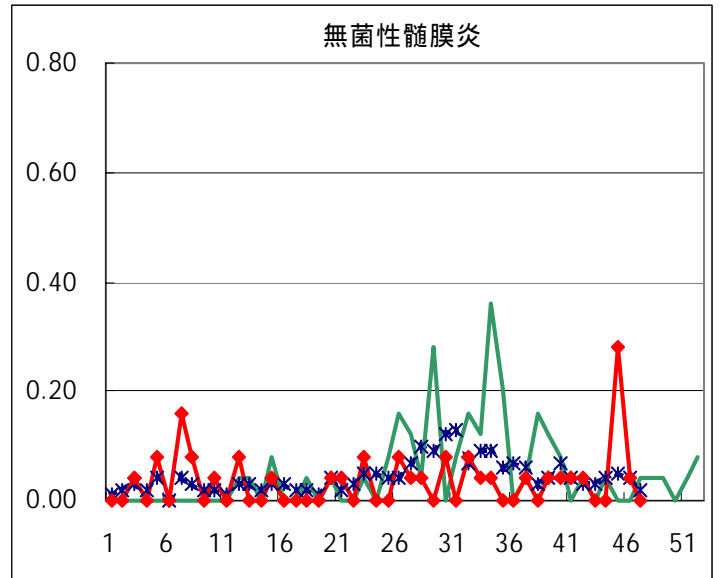
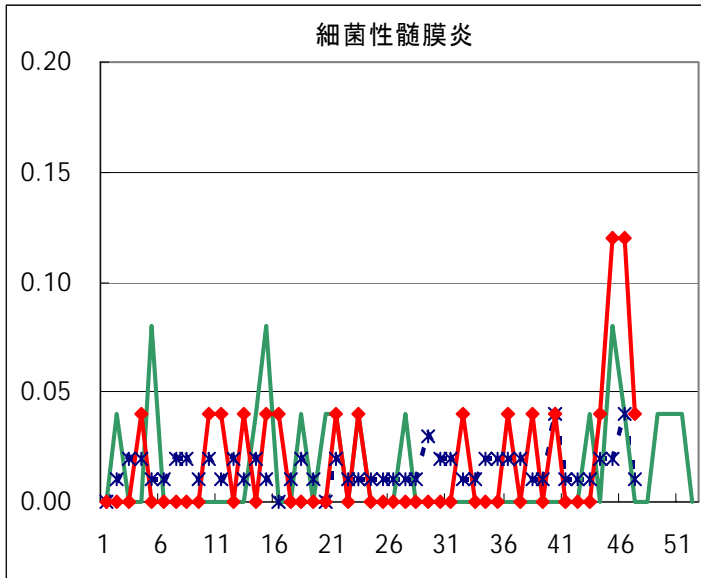




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週報告分)		
定点種別	疾 病	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼 科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基 幹	細菌性髄膜炎	25
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻疹	
小児科	上記を除く疾病	142

病原体検出情報

週別病原体・抗体検出結果(2004年40週～47週)

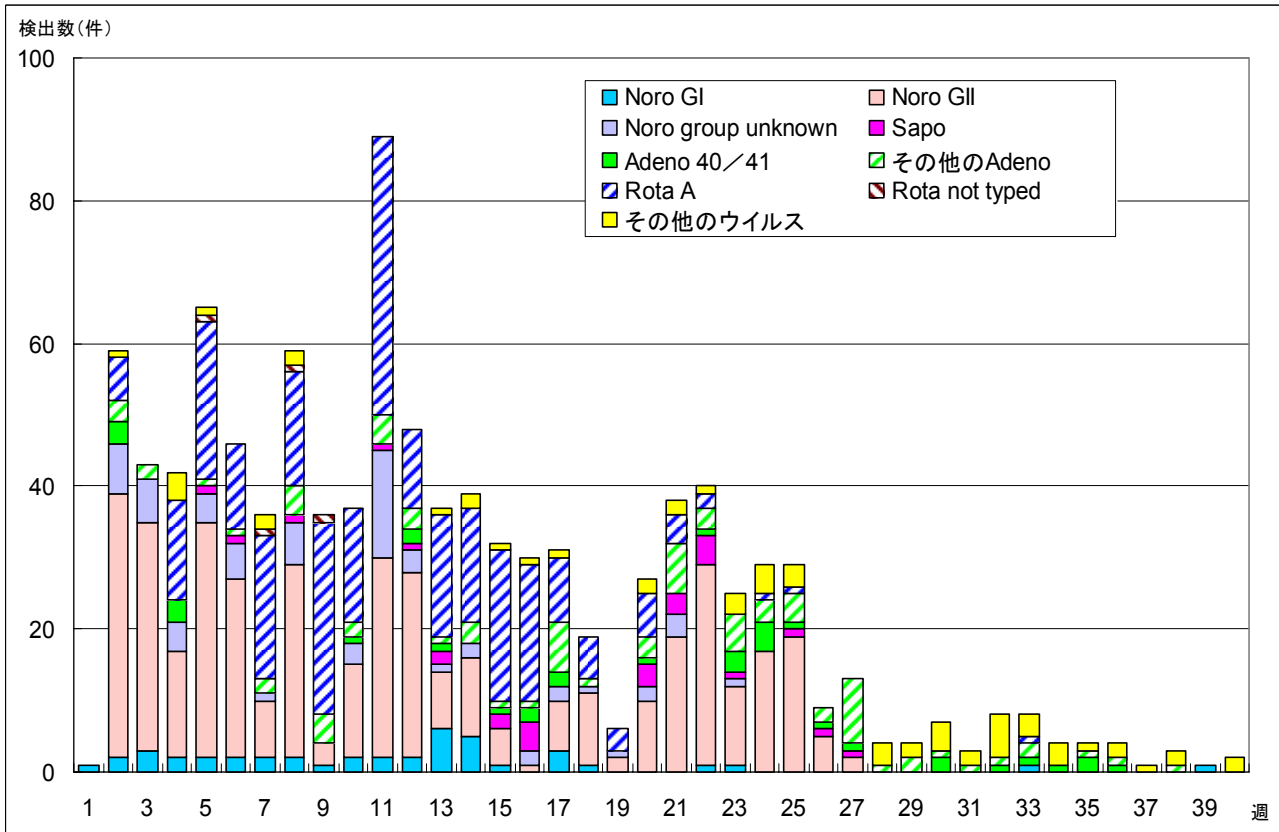
検出病原体・抗体		検体採取週								合計	
		2004年									
		40	41	42	43	44	45	46	47		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型			1	2	3		3		9	
	インフルエンザB型										
	RSV										
	アデノ	7	2	2	1	5	2	2	5	26	
	エンテロ	10	4	2	2	1	3	9	5	36	
	ノロ			15			13	24	10	62	
	ロタ										
	単純ヘルペス	1								1	
	水痘・带状疱疹しん										
	EBV	1		1					1	3	
	CMV	1		1		1			2	5	
	HHV6/7	3		1	2		2	5	3	16	
	ムンプス										
	麻しん										
	パルボB19										
	分離型別・遺伝子型別	ポリオ1	1		1						2
		ポリオ2	1								1
		アデノ1									
		アデノ2									
アデノ3			2							2	
エコー13											
エンテロ71											
コクサッキーA6											
ライノ							3			3	
抗体	デング				1	1	1			3	
	ツツガムシ										
細菌	カンピロバクター				1					1	
	サルモネラ										
	下痢原性大腸菌										
	エロモナス										
	O157										
	MRSAコアグララーゼⅠ型	1								1	
	MRSAコアグララーゼⅡ型	1		5					1	7	
	MRSAコアグララーゼⅢ型			2					1	3	
	MSSAコアグララーゼⅤ型								1	1	
	溶連菌T-1型										
	溶連菌T-3型					1				1	
	溶連菌T-4型	1			1	1				3	
	溶連菌T-6型				1					1	
	溶連菌T-12型	3			1	1				5	
	溶連菌T-22型										
	溶連菌T-25型										
溶連菌T-28型	2			1			1		4		
溶連菌UT				1					1		
性感染症	梅毒	1		1		1		1	6	10	
	クラミジア抗体	16	19	12	10	20	17	33	62	189	
	クラミジア遺伝子		1		1				1	3	
	淋菌遺伝子	1								1	
	パピローマ	1	3	2	3	1				10	

臨床診断名別病原体検出結果（2004年40週～47週）

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (インフルエンザ を含む)	上 気 道 炎	下 気 道 炎	咽 頭 結 膜 熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜炎	脳 炎	ヘルパンギーナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	発 疹 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	口 内 炎	水 痘	そ の 他	合 計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型	9																9
インフルエンザB型																	
RSV																	
アデノ	1	4	6			4	1		1			3	1			5	26
アデノ1																	
アデノ2																	
アデノ3		1														1	2
エンテロ		4	5			2	5					10	1			9	36
エコー13																	
コクサッキーA6																	
ポリオ1						1						1					2
ポリオ2						1											1
ムンプス																	
ノロ						62											62
ロタ																	
単純ヘルペス									1								1
水痘・带状疱疹しん																	
パルボB19																	
カンピロバクター						1											1
サルモネラ																	
下痢原性大腸菌																	

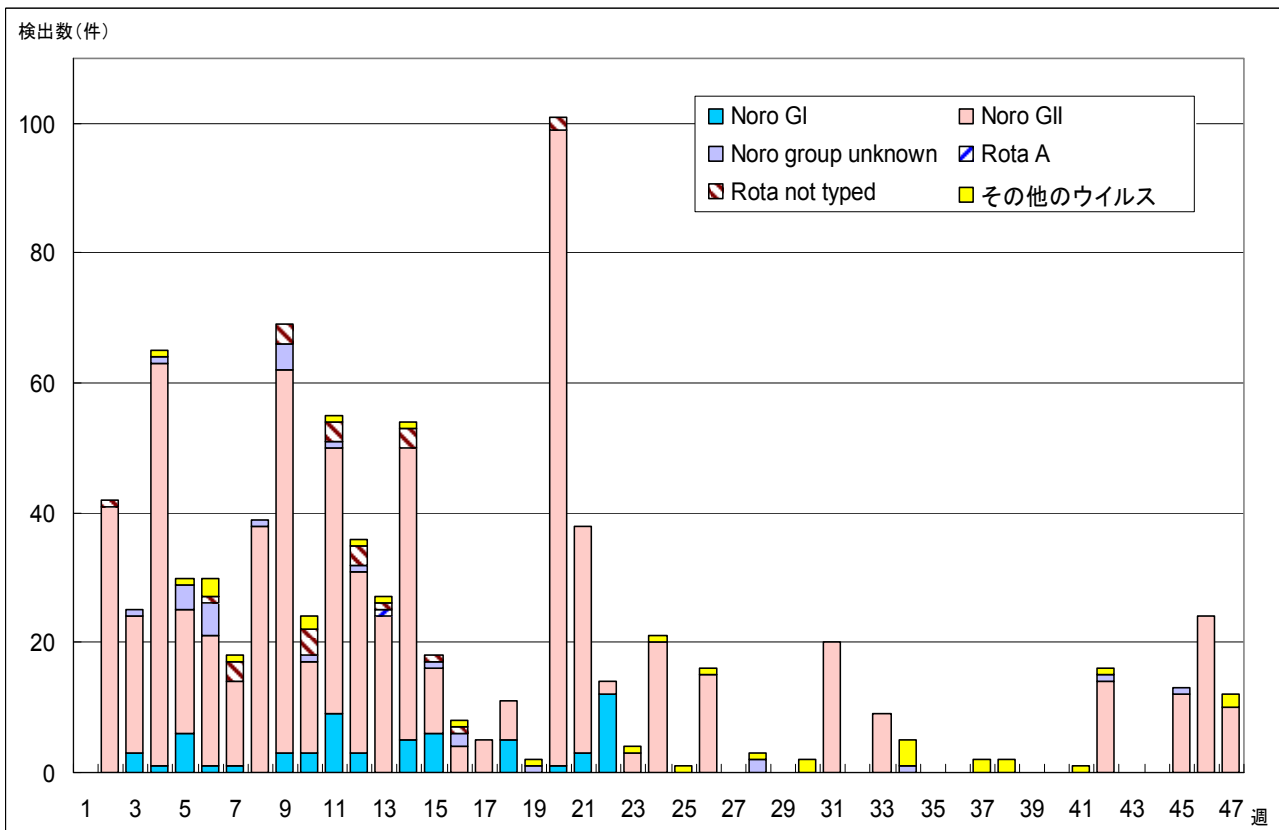
病原体グラフ (感染性胃腸炎)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス (全国)



IASR 病原微生物検出情報(2004年10月25日現在報告数)

感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス (東京都)



微生物部ウイルス研究科/多摩支所微生物研究科(集団発生を含む)
 (注) Noro group unknown: SRSVで報告されたものを含む

年齢階級別報告数 2004年 47週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月	2				12	4			3
～1歳	6		1		24	7	5		30
1歳	6	7	2	3	87	25	36	1	30
2歳	1	4	4	1	79	35	34		
3歳	3	3		5	82	34	15	3	
4歳		6	2	17	82	15	18	4	
5歳		6	1	15	83	8	17	6	
6歳		7	1	12	54	5	8	4	
7歳		1		16	39	4	6		
8歳		3	1	11	30	2	2	3	
9歳	1	3		3	16	2	1	2	
10～14歳			1	4	59	4	2		
15～19歳			1	3	17	2	2		
20～29歳	2	4	2	4	117	1	2		
30～39歳		6							
40～49歳		2							
50～59歳		2							
60～69歳		2							
70～79歳		1							
80歳以上		1							
合計	21	58	16	94	781	148	148	23	63
先週比	12	7	0	9	243	24	-30	5	-9

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月								1	
～1歳			1		2			2	1
1歳		2	4		3			2	
2歳					5				
3歳			3		8			2	
4歳			2		11				
5歳					17				
6歳			1		9				
7歳					2				
8歳					4				
9歳					3				
10～14歳					4				
15～19歳					3				
20～29歳					1		4		
30～39歳							2		
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	-	2	11	-	72	-	6	7	1
先週比	0	1	1	0	-28	0	-1	3	0

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別報告数 2004年 47週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						1				
中央区					5	2	5		2	
みなと	6		2	5	22	1	1	1		
新宿区					27				2	
文京					13	5	6		1	
台東		1	1	2	29	5	9		3	
墨田区				2	12				6	
江東区				2	22	2	14		3	
品川区			1	2	51	4	1		2	
目黒区				2		1			2	
大田区	1	3	2	6	39	16	12	3	3	
世田谷区	1			6	57	7	9	1	4	
渋谷区					24	8	4	2	3	
中野区				4	25	8	6	2	1	
杉並	1	5	4	9	140	5	6	3	2	
池袋					2	4			2	
北区	1	5	1	11	9	19	6	3	3	
荒川区				3	11	3	16			
板橋区		5			11	1	2			
練馬区	2	3		8	11	5	13	3	3	
足立				1	9	8			3	
葛飾		2		3	13		2		3	
江戸川	1	30		4	51	2	2		2	
西多摩	2	1		1	47	3	10	1	4	
八王子					9	1			1	
南多摩	3			2	20	3	1	1	1	
町田				3	13	6	3		1	
多摩立川		2			15	2	2			
多摩府中				11	17	22	14	3	1	
多摩小平	3	1	5	7	77	4	4		5	
島しょ										

東京都合計	21	58	16	94	781	148	148	23	63	-
定点当り報告数	0.15	0.33	0.11	0.66	5.50	1.04	1.04	0.16	0.44	-

保健所別報告数 2004年 47週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									1
中央区		1		1					16
みなと				1		1	1		41
新宿区				5		3	1		38
文京				1		1			27
台東	1	1		2					54
墨田区				2					22
江東区				1		1			45
品川区				6					67
目黒区									5
大田区		1		10			1		97
世田谷区				3					88
渋谷区				1					42
中野区									46
杉並				3					178
池袋								1	9
北区		1							59
荒川区		1		2			2		38
板橋区									19
練馬区		3		1					52
足立				1					22
葛飾				3					26
江戸川		1		1			2		96
西多摩	1			5					75
八王子				1					12
南多摩				3					34
町田		1		7					34
多摩立川				1					22
多摩府中				8					76
多摩小平		1		2					109
島しょ				1					1

東京都合計	2	11	-	72	-	6	7	1	1451
定点当り報告数	0.01	0.08	-	0.51	-	0.43	0.05	0.01	

保健所別報告数(定点当たり) 2004年47週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜炎	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						0.25				
中央区					1.67	0.67	1.67		0.67	
みなと	1.00		0.33	0.83	3.67	0.17	0.17	0.17		
新宿区					4.50				0.33	
文京					4.33	1.67	2.00		0.33	
台東		0.25	0.33	0.67	9.67	1.67	3.00		1.00	
墨田区				0.67	4.00				2.00	
江東区				0.67	7.33	0.67	4.67		1.00	
品川区			0.17	0.33	8.50	0.67	0.17		0.33	
目黒区				0.67		0.33			0.67	
大田区	0.11	0.30	0.22	0.67	4.33	1.78	1.33	0.33	0.33	
世田谷区	0.13			0.75	7.13	0.88	1.13	0.13	0.50	
渋谷区					6.00	2.00	1.00	0.50	0.75	
中野区				0.67	4.17	1.33	1.00	0.33	0.17	
杉並	0.17	0.71	0.67	1.50	23.33	0.83	1.00	0.50	0.33	
池袋					0.40	0.80			0.40	
北区	0.25	1.00	0.25	2.75	2.25	4.75	1.50	0.75	0.75	
荒川区				1.50	5.50	1.50	8.00			
板橋区		0.71			1.83	0.17	0.33			
練馬区	0.40	0.50		1.60	2.20	1.00	2.60	0.60	0.60	
足立				0.25	2.25	2.00			0.75	
葛飾		0.40		0.75	3.25		0.50		0.75	
江戸川	0.25	6.00		1.00	12.75	0.50	0.50		0.50	
西多摩	0.40	0.14		0.20	9.40	0.60	2.00	0.20	0.80	
八王子					4.50	0.50			0.50	
南多摩	1.00			0.67	6.67	1.00	0.33	0.33	0.33	
町田				1.50	6.50	3.00	1.50		0.50	
多摩立川		0.25			2.50	0.33	0.33			
多摩府中				1.10	1.70	2.20	1.40	0.30	0.10	
多摩小平	0.50	0.13	0.83	1.17	12.83	0.67	0.67		0.83	
島しょ										

東京都合計	21	58	16	94	781	148	148	23	63	-
定点当り報告数	0.15	0.33	0.11	0.66	5.50	1.04	1.04	0.16	0.44	-

保健所別報告数(定点当たり) 2004年47週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区		0.33		0.33				
みなと				0.17		1.00	0.17	
新宿区				0.83		1.50	0.17	
文京				0.33		1.00		
台東	0.33	0.33		0.67				
墨田区				0.67				
江東区				0.33		1.00		
品川区				1.00				
目黒区								
大田区		0.11		1.11			0.11	
世田谷区				0.38				
渋谷区				0.25				
中野区								
杉並				0.50				
池袋								0.20
北区		0.25						
荒川区		0.50		1.00			1.00	
板橋区								
練馬区		0.60		0.20				
足立				0.25				
葛飾				0.75				
江戸川		0.25		0.25			0.50	
西多摩	0.20			1.00				
八王子				0.50				
南多摩				1.00				
町田		0.50		3.50				
多摩立川				0.17				
多摩府中				0.80				
多摩小平		0.17		0.33				
島しょ				1.00				

東京都合計	2	11	-	72	-	6	7	1
定点当り報告数	0.01	0.08	-	0.51	-	0.43	0.05	0.01

咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は感染症発生動向調査における五類感染症として、全国約 3,000 の小児科定点から毎週患者数が報告されている。患者発生は年間を通じてみられるが、毎年夏季に増加する。2003 年の患者数は 40,714 人（定点当たり 13.39 人）で、1987 年以降の集計では最大であったが、さらに 2004 年夏季は 2003 年を大きく上回る流行がみられている。2000 年以降、それ以前にはなかった冬季の再増加傾向がみられていたが、2003 年晩秋以降はさらにその傾向が顕著となっている。週別患者数の推移をみると、2003 年は第 16 週から過去 10 年間同週の最高レベルに増加し、第 29 週にピークとなった後、一旦減少したが、第 43 週以降再び増加した。2004 年に入っても第 1～35 週まで 2003 年を上回り、過去同週最高のレベルで推移した。2003 年の患者の年齢は 1～5 歳の各年齢がそれぞれ 13～16%で、合わせて全体の 4分の3を占めている。

咽頭結膜熱の主な病原体はアデノウイルス 3 型であるが、7 型と 4 型も病原となる。潜伏期は 5～7 日である。2003 年に全国の地方衛生研究所で咽頭結膜熱患者から検出されたアデノウイルスの約 3分の2が 3 型であった。アデノウイルス 3 型は夏季の咽頭結膜熱患者のみならず、冬季の集団かぜや散発例からも検出される。最近アデノウイルス迅速抗原検出キットが普及しているが、感染症発生動向調査では咽頭結膜熱の届出基準は発熱・咽頭発赤と結膜充血の三主症状による臨床診断が基本であり、アデノ抗原陽性の場合でも、特に結膜炎の症状を呈しているか、が咽頭結膜熱の届出上重要である。

(文責・山下 和予)